

平成28年度事業報告

平成28年度事業概要報告書

自 平成28年4月 1日
至 平成29年3月31日

平成28年度の国内経済は、年末にかけて緩やかな持ち直しが続き、実質GDPは前年からプラス成長となりました。しかしながら、個人消費や設備投資等内需が伸び悩む中で、外需主導による成長率の確保といった側面も否めず、日本経済の自立的な回復は以前として力強さを欠いていると言わざるを得ない状況となっています。また、トランプ政権の誕生や、英国のEU離脱等と大きな変革が起こり、熊本での大きな震災もあって経済にも大きな影響を及ぼしました。

日本の農業は、農産物の品質の高さとともに海外に向けて和食文化を発信していくという、攻めの農業への転換と確実な再生産が求められています。なかでも、和牛肉は高品質の重要輸出品目としての位置づけで、さらなる増産が期待されています。

畜産を巡る状況は、去年に比べると全国的に繁殖雌牛の減少に歯止めがかかりつつも、高齢化の波は避けられず農家戸数の減少は各種畜とも同様な傾向であります。さらに、子牛市場価格は高値で推移しているものの素牛不足は解消されておらず、肥育農家の経営を圧迫していることも懸念されています。今後は、和牛基盤を強化し子牛を増頭させつつ、将来に向けて和牛経営全体の安定を図らなければならない大事な時期となっています。

さて、和牛登録事業については、子牛登記頭数は30,624頭（前年度対比101.5%）で去年からの母牛登録増により微増傾向がみられ、高等登録頭数は108頭（前年対比127%）で全共対策事業等の成果も見られ増頭しました。基本・本原登録は、4,236頭（前年度対比106%）で、県・市町村・和牛改良組合による保留対策や導入補助事業による優良雌牛の確保対策などが功を奏し増頭に転じました。協会では、肉用牛情報ネットワークシステムに枝肉格付けデータや廃用牛情報の取込みなどを構築し、より現場で活用でき、農家にいち早く情報の提供ができるようになりました。また、伊是名・伊平屋村がやんばる和牛改良組合に加わったことから県全域が和牛改良組合に加入したことになり、平成29年9月に行われる宮城全共出品に対し、各組合が切磋琢磨すると思われるので沖縄県全体のレベル向上につながっていきます。

乳牛については、血統登録は254頭（前年度対比121%）で、農家戸数減少の中でも登録頭数は増加しております。要因としては、今年度より農家自身で行う自動登録システムを実施したことがあげられ、若い生産者がITなどをうまく活用して、効率的に血統登録を実施しています。

種豚については、子豚登記は566頭（前年度対比95.2%）で、指定種豚場減の影響により減少がみられたが、種豚登録は319頭（前年度対比106%）で大型農場の種豚導入増も相俟って増加しました。今後は、事業により系統豚であるオキナワアイランドと指定種豚場の種豚が一般養豚農家にも行き渡ってきたので、農家を巡回し登録事業の意義を伝え、登記・登録などに結びつけていきたい。アグー豚証明頭数は、94頭（前年度対比67.6%）で減少しておりますが、今後アグーブランドを確立させるためにも、アグー生産農場に登録の普及促進を促していきたい。

山羊については、産子登録は13頭（前年度対比325%）でボア種が主でありました。出生確認870頭（前年度対比170%）は、山羊農家においてセリ出荷時に付加価値を付けるためや、山羊品評会へ出品目的で行われ、着実に生産農家に浸透してきています。

本会が取り扱う一般社団法人家畜改良事業団の肉用牛精液等については、平成28年度にあっては約1万7千本の精液を斡旋し、農家の繁殖需要に応えております。

県、公社、関係団体等からの助成事業、委託事業については前年度同様で、事業の推進には積極的に取り込み生産農家の所得向上に寄与する取り組みを実施しました。

本会の事業においては、飼養頭数が微増の中で、概ね本年度も順調に推移したことは、事業の遂行にあたって会員各位並びに国、県、市町村、農協、関係団体の絶大なるご指導、ご支援の賜物であります。ここに改めて深甚なる謝意を申し上げ、平成28年度の事業報告といたします。

平成28年度 実績頭数

1 家畜の登録、登記、検定及び会員数

家畜改良増殖法により承認された各種畜の登録規程に基づき、次のとおり登録、登記、検定等を行った。

登録登記検定頭数及び会員数				
種 畜	登録登記の種類	平成28年度実績 頭数及び員数	平成27年度実績 頭数及び員数	増 △ 減
乳 牛	血 統 登 録	254	210	44
	移 動 証 明	114	114	0
和 牛	高 等 登 録	108	85	23
	本 原 登 録	1,345	1,135	210
	基 本 登 録	2,891	2,847	44
	子 牛 登 記	30,624	30,144	480
	血 統 証 明	182	189	△ 7
種 豚	産肉検定証明	0	12	△ 12
	産 子 検 定	49	2	47
	種 豚 登 録	319	300	19
	子 豚 登 記	566	594	△ 28
山 羊	産 子 登 録	13	4	9
合 計		36,465	35,636	829
会 員	乳 牛 会 員	35	36	△ 1
	和 牛 会 員	2,898	2,958	△ 60
	種 豚 会 員	15	21	△ 6
	種馬山羊会員	141	77	64
	団体賛助会員	2	2	0
計		3,091	3,094	△ 3

2. 家畜改良振興事業

家畜改良対策の一環として家畜審査講習会、家畜人工授精師養成講習会への講師派遣農林高校の家畜審査協議会の開催支援・講師派遣、農業大学の育種改良講義の講師派遣、和牛改良組合、市町村、南部・中部・北部各地区、県等各共進会への審査派遣（主な行事で記載）を行い、日常での農家指導等も行ってきた。

1) 肉用牛の家畜審査講習会

畜産共進会の審査技術の向上を目的として、家畜審査講習会を開催した。

○ 平成28年6月29日 今帰仁村家畜市場 受講者数 45名

2) 沖縄県主催の家畜人工授精師(牛)養成講習会における家畜審査科目の講義等を担当し、生産現場における家畜審査に関わる人材育成に協力した。

○ 平成28年8月9日 県立農業大学校 受講者数 9名

3) 沖縄県農業大学校における家畜育種の一環として家畜の改良の講義を担当し、後継者の指導・人材育成に協力した。

○ 平成28年5月24日 県立農業大学校 受講者数 10名

4) 和牛改良組合、市町村、南部・中部・北部各地区、県共進会へ審査委員を派遣し、種畜の審査・農家指導を行った。

○ (主な処理事項に記載)

5) 県内の乳用牛の生産性向上のため体型データの収集と評価を行い、生産農家に乳用牛の改良及び経営改善指導等を行った。

○ 平成28年6月27日～29日 調査酪農戸数 12戸 調査頭数 46頭

○ 平成28年12月19日～20日 調査酪農戸数 6戸 調査頭数 26頭

3. 肉用牛振興推進事業

竹富町黒島において、繁殖能力及び産肉性等について調査分析し、繁殖雌牛の体型比較検討会及び研修会を行った。

○ 平成28年12月5日 与那国町公民館 受講者数 19名

○ 平成29年1月31日 黒島家畜市場 受講者数 25名

4. 繁殖雌牛改良促進事業

県内基礎雌牛の選定と計画交配、地域の繁殖雌牛の改良促進、計画交配によって選定された雄子牛の産子調査及び産肉能力検定（直接法）候補牛の選定を行った。また、各改良組合において、地域の特徴を伸ばすことや、地域の問題点を課題に取り上げるとともに、飼養管理技術の向上を図るための研修会を実施した。

○ 平成28年7月5日 宮古家畜市場 受講者数 54名

○ 平成28年10月11日 今帰仁村家畜市場 受講者数 25名

○ 平成28年10月23日 伊江村家畜市場 受講者数 24名

○ 平成28年10月24日 久米島家畜市場 受講者数 18名

○ 平成28年10月25日 南部家畜市場 受講者数 47名

○ 平成28年12月6日 八重山家畜市場 受講者数 32名

5. 沖縄県優良肉用牛生産推進事業

県内優良肉用牛生産基盤及び肉質向上推進のため県内生産農家に脂肪交雑の上位1,000番以内の母牛に優良種雄牛の交配シミュレーションをとおして計画交配を推進させ、期待の期待、期待育種価などを送付して経営改善に資した。また、今年度より新たな情報として分娩間隔や初産月齢・分娩間隔育種価と言った種牛能力も併せて送付し、同時に研修会や農家指導を行いました。

○ 平成28年11月10日 交配シミュレーション、推定育種価、期待、期待の期待育種価、分娩間隔、初産月齢・分娩間隔育種価 送付件数 410件

○ 平成29年2月27日 交配シミュレーション、推定育種価、期待、期待の期待育種価、分娩間隔、初産月齢・分娩間隔育種価 送付件数 354件

○ 平成29年2月1日 家畜審査講習会 南部家畜市場 受講者数 29名

6. 全国和牛能力共進会出品対策事業

第11回全国和牛能力共進会に向けて和牛改良組合連絡協議会を中心に、事業推進を図った。特に8区、9区においては、肥育農家への巡回指導を開始し、ビタミン等の検査を実施した。また、出品対策会議を行い、第11回全共対策の各組合の取組進捗状況などの検討会を行った。

- 平成28年 6月10日 第11回全共第6回出品対策会議 沖縄畜産振興センター会議室
- 平成29年 2月10日 第11回全共第7回出品対策会議 沖縄畜産振興センター会議室

7. 家畜人工授精精液取扱事業

一般社団法人家畜改良事業団熊本種雄牛センターからの家畜人工授精用精液は、下記の必要量を斡旋し、農家の繁殖需要に応えた。

(取扱本数) : 黒毛和種精液 17, 366本、乳牛精液 225本、日本褐毛精液 5本

庶務に関する事項

I. 定時総会

平成28年6月22日 沖縄畜産振興支援センター4階 会議室

報告事項

- 第1号報告 平成27年度事業実績報告 楊
- 第2号報告 平成28年度事業計画報告
- 第3号報告 平成28年度収支予算報告

提出議案

- 第1号議案 平成27年度財務諸表の承認に関する件
- 第2号議案 平成28年度会費の決定に関する件
- 第3号議案 平成29年度会費並びに登録関係諸料金等改正の件
- 第4号議案 平成28年度役員報酬に関する件
- 第5号議案 理事及び監事の選任に関する件
- 第6号議案 付帯決議に関する件
- その他 創立60周年記念事業

II. 定時理事会

第1回 平成28年6月3日 沖縄畜産振興支援センター 会議室

- 1 平成27年度事業報告に関する件
- 2 平成27年度財務諸表の承認に関する件
- 3 家畜改良協会規則等の一部改正に関する件
- 4 定時総会の開催並びに提案する議案に関する件
- 5 付帯決議に関する件
- その他

業務執行報告

- (1) 新事務所移転取り組みの進捗状況について
- (2) 第11回全国和牛能力共進会について

臨時

第2回 平成28年6月22日 沖縄畜産振興支援センター 会議室

- 1 会長、副会長、専務理事の選任について

第3回 平成28年10月26日 沖縄畜産振興支援センター 会議室

- 1 社員選挙に関する件
その他

報告事項

- (1) 平成28年度4月～9月期の登記・登録頭数の進捗状況について
- (2) 平成28年度4月～9月期の収支状況について
- (3) 第11回全国和牛能力共進会について
- (4) 新事務所建築状況について
- (5) その他

第4回 平成29年3月22日 沖縄畜産振興支援センター会議室

- 1 平成28年度補正予算について
- 2 平成29年度事業計画について
- 3 平成29年度収支予算について
- 4 沖縄開発金融公庫借入金額について
- 5 職員採用について
- 6 付帯決議について

業務執行報告

- 1) 和牛会費並びに登記・登録料金の改正について
- 2) 平成28年度登記・登録事業の進捗状況について
- 3) 第11回全国和牛能力共進会について

Ⅲ. 監 査

平成28年5月25日 本会会議室
平成27年度事業報告書、貸借対照表、財産目録、正味財産増減計算書及び関連帳表等について監事の監査を受け、承認を得た。

主な処理事項

年月日	処理事項
平成28年 4月 1日	古波蔵事務所の売却について獣医師会と契約締結
4月11日	第11回全共に係る協力要請（県畜産課、畜産振興公社）
4月15日	中央審査委員会（京都：全和本部）
5月～2日	指定種豚場連絡協議会理事会
5月 9日	全国和牛登録協会主催による和牛登記検査員研修会（神戸）
5月10日	伊江村子牛共進会
5月20日	J Aおきなわ肉用牛生産者大会（宜野湾）
5月24日	沖縄県農業大学校における和牛育種講義 久米島和牛改良組合総会
5月25日	決算監査
5月26日	新事務所地鎮祭、役員選考委員会
5月27日	指定種豚場連絡協議会総会、今帰仁村和牛改良組合総会、日本授精師協会理事会
5月30日	九州ブロック支部長会（京都）（～31日） 石垣和牛改良組合総会
5月31日	やんばる和牛改良組合総会

年月日	処理事項
6月 2日	宮古和牛改良組合総会
6月 3日	第1回定時理事会(事業報告・決算、通常総会開催)
6月10日	和牛改良組合連絡協議会総会及び第11回全国和牛能力共進会出品対策会議
6月14日	沖縄県畜産共進会協議会総会
6月16日	和牛入門ゼミナール(京都)(～17日)
6月22日	定時総会、臨時理事会
6月27日	乳用牛牛群体型調査(～29日)
6月24日	公益社団法人全国和牛登録協会総会 第11回全国和牛能力共進会発会式
6月28日	うるま市子牛共進会
6月29日	農林高校家畜審査協議会、家畜審査講習会(県、農協、市町村技術者向)
6月30日	実績報告、決算書の行政庁届出(電子申請)糸満市和牛改良組合総会
7月 1日	南部地区和牛改良組合総会
7月 3日	高等登録審査及び雌牛改良促進事業実施(宮古、)(～7日)
7月13日	第11回全国和牛能力共進会に係る協力要請(JA代表理事理事長)
7月14日	全国和牛登録協会主催 事務研修会(京都)(～15日)
7月20日	種雄牛造成のための雌子牛購買 鳥取県(～23日)
7月21日	日人協九州地区ブロック研修会(佐賀県)(～22日)
7月26日	乳牛九州地区ブロック研修会(長崎県)(～27日) 草地管理アニマル事業合同検討委員会(東京)
7月27日	種豚九州地区ブロック研修会(宮崎県)(～28日)
7月28日	「第11回宮城全共に向けて」全和鹿児島県支部坂元局長による講演会
8月 2日	今帰仁村畜産共進会
8月 3日	新事務所建設設計監理契約
8月 4日	国頭村畜産共進会
8月 5日	沖人協総会、第1回工程会議
8月 9日	本部町畜産共進会、家畜人工授精師講習会
8月18日	第11回全国和牛能力共進会に係る肥育牛調査
8月24日	宜野座村畜産共進会
8月25日	金武町畜産共進会
8月26日	うるま市畜産共進会
8月28日	名護畜産共進会
8月29日	八重瀬町畜産共進会
8月30日	糸満市畜産共進会 石垣市全共調査(～31日)
8月31日	豊見城市畜産共進会、肉用牛改良専門委員会
9月 1日	南城市畜産共進会
9月 2日	伊江村、西原町畜産共進会
9月 6日	読谷村畜産共進会
9月 7日	久米島町畜産共進会
9月 8日	沖縄市畜産共進会
9月 9日	宮古地区畜産共進会
9月12日	沖縄県畜産共進会運営委員会
9月20日	JA増頭会議
9月21日	第2回60周年記念誌編集委員会
9月25日	八重山群畜産共進会
9月26日	中部地区畜産共進会
9月28日	北部地区畜産共進会
9月29日	中部地区和牛改良組合総会

年月日	処理事項
10月 2日	沖縄県畜産共進会に係る肥育牛測定
10月 5日	第11回全国和牛能力共進会に係る肥育素牛調査
10月 6日	南部地区畜産共進会
10月 7日	沖縄県畜産共進会枝肉共励会
10月11日	高等登録及び雌牛改良促進事業実施（北部）（～14日）
10月19日	第11回全国和牛能力共進会に係る雌牛調査（糸満市、南部地区、うるま市）
10月24日	高等登録及び雌牛改良促進事業実施（久米島、伊江村、南部）（～28日）
10月26日	第3回定時理事会（社選）
10月31日	第1回社員選挙選考管理委員会 第11回全共に係る雌牛調査（石垣市）
11月 2日	開発金融公庫資金借入申請提出
11月 4日	沖縄県畜産共進会（種牛の部 和牛、乳牛）
11月 5日	沖縄県山羊品評会
11月 9日	第11回全国和牛能力共進会に係る肥育素牛調査
11月24日	第11回全国和牛能力共進会に係る種牛雌牛調査（～25日）
11月29日	肉用牛改良専門委員会 新事務所棟上げ式
12月 5日	肉用牛振興事業に係る肉用雌牛体型調査検討会（与那国）
12月 6日	高等登録及び雌牛改良促進事業実施（石垣市）
12月 8日	全国和牛登録協会支部長会（京都）
12月15日	第11回全国和牛能力共進会に係る調査（宮古島市）（～16日）
12月19日	乳用牛牛群体型調査（～20日）
12月27日	沖人工授精師会議（県有凍結精液払い下げ説明会）
平成29年 1月12日	糸満市・南部地区和牛改良組合子牛共進会
1月20日	指定種豚場連絡協議会種豚改良懇談会
1月25日	全国和牛登録協会支部長会議、第11回全国和牛能力共進会連絡協議会
～26日	和牛改良組合強化委員会、産肉能力検定委員会
1月30日	高等登録及び肉用雌牛体型調査検討会（黒島）（～31日）
2月 1日	沖縄県優良推進事業に係る家畜審査講習会（技術員対象）
2月 2日	第11回全国和牛能力共進会に係る肥育素牛調査
2月 7日	世界一おいしいアグー豚作出事業推進会議、沖縄市子牛共進会
2月10日	第7回全共出品対策会議
2月16日	第11回全国和牛能力共進会に係る種牛雌牛調査（～17日）
2月19日	現場後代検定合同調査会（宮城県）（～21日）
2月24日	肉用牛改良会議専門委員会
3月 1日	農林第3部局会計実施検査
3月10日	県共進会運営委員会、家畜共済損害評価会
3月14日	家畜診療所運営委員会
3月22日	第4回定時理事会（予算補正、H25事業計画・予算案、規則改正）、乳用牛改良会議
3月24日	アグーブランド豚推進会議
3月27日	新事務所消防検査
3月29日	県農林水産部長挨拶（全共県発会式出席要請）
3月31日	新事務所に係る開発検査確認、建築確認検査、建物引き渡し 平成29年度の事業計画、予算書の行政庁届出（電子申請）